

## 平成30年度第43回入学式式辞

校舎前の花壇のチューリップやパンジーなどの花々が赤や黄色の美しいコントラストで咲き誇り、まさに春爛漫の頃となりました。本日ここに平成30年度第43回入学式を挙げるにあたり、大井西中学校PTA会長 坂本 鋼三様をはじめ、多数のご来賓のご臨席と保護者のご参列をいただき、新入生92名を迎えられましたことは、校長として大変うれしく、厚く御礼申し上げます。新入生の皆さん、入学おめでとう。保護者、ご家族の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員、在校生一同、心よりお待ちしております。只今の新入生の返事の仕方、目の輝き、そして凛々しい立ち居振る舞いは大変立派でした。きっと素晴らしい西中生になってくれると期待しています。

西中学校は「優しく 賢く 逞しく」を学校教育目標としています。言い換えれば幸せな人生を送れるための力を育てるということです。幸せになるための力とはいったい何でしょうか。それは(1)学力をつけること(2)丈夫な体をつくること(3)豊かな心を育てることの3つの力であり、その力をバランスよく育成することが、大井西中学校に課せられた使命だと捉えています。その中で私は特に豊かな心の育成がとても大切だと考えています。昨年の入学式で、私は新入生に向けて学校生活を幸せに送る大切な言葉を伝えてきました。それは「自分がされて嬉しいことは他の人にも同じことをしよう。自分がされて嫌なことは絶対に他の人にはしない」「他人の喜びを自分の喜びとして喜べる人になろう」でした。幸せな学校生活とは物事が自分の思い通りになることではありません。また自分一人ですることでもありません。自分が人から頼りにされ、感謝され、「あなたがいて良かった」「あなたのお蔭で助かった」という言葉をかけてもらったり、友だちを頼り、感謝して「ありがとう」「うれしかった」という言葉を言い合える心の交流や豊かな人間関係の中で初めて幸せな学校生活が実現できるのです。

そして今回、もう一つ大切な言葉を新入生に伝えます。それは「人の役に立とう」です。私は常々人は人や社会の役に立つ使命を持って選ばれて生まれてきていると考えています。誰もが個性を持ち、自分の得意分野で人や社会のために役立つ運命があると捉えています。一人で何でもできる人などこの世に一人もいません。だから支え合いはお互いを幸せにする好循環を生み出し、究極の自分のためになるのです。即ち人の役に立つ行為は、究極の自分の幸せの近道なのです。ですから人の幸せの姿を見て嫉妬したり、妬んだりする必要はありません。相手に与えた愛情や思いやりは必ずいつか自分に返ってきます。それが人の世の常です。どうか自分を慈しむように他の人を大切に思いやってください。そして他の人の頑張りを心から応援してみてください。「よかったね」「すごいね」「あり

がとう」という言葉がたくさん溢れる温かな教室や学校からはいじめは絶対に起こりません。そんな中学校生活が一日も早く来ることを心から願っています。保護者の皆様、本日より大切なお子様をお預かりいたしました。本校のすべての教職員がお子様の命を守り、安心・安全な学校生活を送れますように心を大切に教育を行ってまいります。ただし子どもたちの育ちの場は学校だけではありません。学校・家庭・地域の皆さんの連携が極めて重要であり、お互いを尊重し、補完し合いながら信頼関係を築いて初めて効果が上がるものと考えます。そのためにできるだけ本校の教育活動を発信してまいります。最後に新入生の皆さんに知っておいてほしいことがあります。本日の入学式を迎えるに当たり、上級生が皆さんのために学校を磨き、教室を飾り、体育館を整え、歌声を響かせ、心温まる出会いの場を作ってくれました。私は上級生の皆さんに心から感謝しています。また本校の先生方も夜遅くまで入学式に向けて様々な準備をしていました。また様々な面で学校を支えて下さるPTA・学校応援団・各自治会の皆様がいます。校長として感謝とともに誇りを感じています。大井西中学校にはこんな素敵な上級生や先生方や地域の皆様がいます。安心して学校生活を送ってください。結びにこれからも本校は保護者や地域の皆様と力を合わせて子どもたちの笑顔あふれる温かく温もりのある学校づくりを進めてまいります。今後とも本校の教育活動に対しまして一層のご理解、ご協力をお願いを申し上げ、式辞といたします。

平成30年4月8日          ふじみ野市立大井西中学校校長 山崎祐一